

# バスケットボール 実施要項

## 1. 日時

2026（令和8）年11月14日（土）～16日（月）

## 2. 会場

東京体育館 メインアリーナ

## 3. 主管

一般社団法人東京都バスケットボール協会

## 4. チーム編成

男子・女子共監督1名。選手は7名以上12名以内で編成する。なお、コーチ1名、他スタッフ2名の計3名を別途加えることができる。監督会議での報告をもって、監督、選手、コーチ、他スタッフ2名は同一メンバーで全試合に臨むものとする。試合ごとの上記メンバーの変更は認めない。各都道府県選手団より、原則として男女各2チームまで参加することを認める。

## 5. 参加資格

- (1) 本大会の参加資格は、**下記①～④の通りとする。**
  - ①1986（昭和61）年4月2日から2011（平成23）年4月1日までに出生した者。
  - ②原則、2026（令和8）年5月1日からひきつづき当該都道府県に居住、または在勤・在学する者。
  - ③全日制高等学校の生徒は参加対象としない。
  - ④定時制または通信制高等学校、高等専門学校、各種学校の生徒は一般青年として参加できる。
- (2) **ベンチおよびベンチエリア内に入ることができる各都道府県選手団役員（団長、副団長、総監督・総務）、監督、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャーは、2011（平成23）年4月1日までに出生した者とする。**
- (3) **日本青年団協議会に加盟する都道府県青年団組織または各都道府県の大会窓口からの選出または推薦を受けた者。**
- (4) **過去において、次にかかげる大会（リーグ）及びその大会（リーグ）が組織・名称変更となり、発展・継続した各大会（リーグ）に出場した選手の出場は認めない。ただし、高校年代までの参加経験がある選手と、（オ）については出場から10年以上経過している選手は認める。**
  - (ア) 国際競技会
  - (イ) 全日本総合選手権大会
  - (ウ) 全日本実業団選手権大会

- (工) JBL (JBL2)、WJBL
  - (オ) 国民スポーツ大会バスケットボール競技
  - (カ) 全日本実業団競技大会
  - (キ) 全日本社会人バスケットボール地域リーグチャンピオンシップ
  - (ク) bjリーグ
  - (ケ) NBL (NBDL)
  - (コ) 3×3. EXE PREMIER
  - (サ) Bリーグ、Wリーグ
- (5) **国内外で職業競技者**（演技者・技術者）としての活動実績を有する者は本大会に**参加できない**。
- (6) **日本学生バスケットボール連盟に加盟する者**は本大会に**参加できない**。
- (7) **無資格の選手が参加していることが発見されたときは、当該チーム全体を失格とする**。

## 6. オーバーエイジ枠

**参加資格に、オーバーエイジ枠**（以下、OA枠（1986（昭和61）年4月1日以前に出生した者の参加を一部認める））**を設ける。OAの選手が参加する場合は登録選手のうち2名以内とする。**

## 7. 競技方法

- (1) **バスケットボール競技現行規則による。**
- (2) **トーナメント方式又は予選グループ方式ののうち決勝トーナメント戦とする。**3位以下の決定戦は行わない。なお、主催者が前述の方法では日程が消化できないと判断した場合、新たな運営方法を用いる場合もある。この場合は、試合方法は10月半ばを目処に日本青年団協議会に加盟する都道府県青年団組織または各都道府県の大会窓口連絡した上で、プログラムに記載するとともに監督会議でも発表する。
- (3) 必要に応じて、競技時間を短縮することがある。競技時間は主催者において決定しプログラムに記載のうえ監督会議にて周知するが、当該時間は確定したのではなく、他チームの棄権等の事情により変更される場合がある。
- (4) ベンチ入り認められるのは、原則として監督、コーチ、アシスタントコーチ、マネージャーとし、参加チームのチーム代表者（都道府県選手団役員等）がベンチ入りを希望する場合は、事前に競技場内の大会事務局に申し出ること。なお、認められる人数は2名以内とする。

## 8. 参加上の注意

- (1) **参加チームは、オフィシャルを担当する。**
- (2) ユニフォームは、全員が同型・同色のものを濃・淡両方（淡色は白色が望ましい）用意する（ユニフォームの下へTシャツの着用は不可）。
- (3) 申し込みにあたり、**ユニフォーム（シャツ・パンツ）の前面と背面（濃淡両方）の写真**を郵送またはメールにて大会本部まで送ること。**未提出のチームは、監督会議にユニフォームを持参し、主催者のチェックを必ず受けること。**

- (4) ユニフォームに記載することができる文字は、**申込チーム名か都道府県名とする**。市区町村名をはじめとする地域名は、申込チーム名に入っていれば認める。企業名、商品名、申込チーム名と異なるチーム名の入ったユニフォームは認めない。ただし、上から別布で見えなくしたものは可。
- (5) ユニフォーム番号は、0 (00) 番から99番までの番号とし、ユニフォームの色と区別できる単色の番号をつける。また、異なるプレイヤーに同じ番号を用いてはならない。
- (6) ユニフォーム番号は監督会議まで変更を認め、以後の変更は認めない。

## 9. 表彰

- (1) ベスト4まで表彰し、賞状を授与する。
- (2) メダルは1位チームに金メダル、2位チームに銀メダル、3位チームに銅メダルを全員に授与する。
- (3) 1位チームには優勝旗とカップ、2位及び3位チームには盾を授与する。
- (4) **申込終了後、申込数が8チーム以内であった場合、優勝・準優勝までの表彰とする。**

## 10. 有事の際の対応

政府による感染症拡大防止に伴う要請や激甚災害等（以降、有事）が生じた場合、下記の通り対応する。

- (1) 諸経費について
  - ① 有事の際の棄権に関わらず、「体育の部要項 8. 参加費」に基づき支払うものとする。
  - ② 主催者として大会または種目の開催を見送る場合は、参加費、大会運営費、保険料は徴収しない。すでに納入されている場合は返金を行う。
  - ③ 参加チーム・人数が試合可能数に満たない場合、および主催者として大会または種目の開催を見送る場合において、**大会参加にかかる旅費、宿泊費、キャンセル料その他の諸経費については、主催者として負担しない。**
- (2) 主催者及び各競技連盟・協会、各会場、その他関係機関のガイドライン、ならびに自治体からの要請等に沿って実施する。
- (3) 記載のない内容については、主催者で判断する。

## 11. その他

- (1) 原則として基準要項、体育の部要項に定めるところによるが、これらと種目別要項が異なる場合には種目別要項が優先される。
- (2) 宿泊については、参加者自身で任意に手配することとする。なお、希望者は大会本部を通じて指定宿舎（日本青年館ホテル・国立オリンピック記念青少年総合センター）へ申し込むことも可能である。
- (3) 監督・コーチ・アシスタントコーチ・マネージャーが2チーム以上を兼務する場合でも支払うチーム参加費に変更は無い。
- (4) 記載のない内容については主催者で判断する。



**スポーツ振興基金助成事業**

独立行政法人日本スポーツ振興センター